



S.Katsura

## THE KOBE SHIMBUN HAI

## 第73回 神戸新聞杯 (GII)

	1着	2着	3着	4着	5着
本賞	54,000,000円	22,000,000円	14,000,000円	8,100,000円	5,400,000円
付加賞	728,000円	208,000円	104,000円		



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

牡・牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 馬齢重量

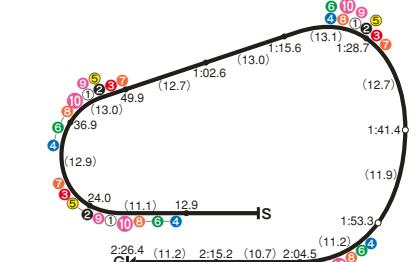
2025.9.21 阪神 晴・良 芝2400m (国際) (指定)

種類	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
					(着差)	通過順位	(600m)	(増減)				
1 ⑩	エリキング	牡3	57	川田将雅	2:26.4	7-7-7-7	32.3	510(+10)	2.7②	中内田充正(栗東)	116	
2 ⑤	ショウヘイ	牡3	57	坂井瑠星	クビ	3-3-3-3	32.9	464(+4)	2.5①	友道康夫(栗東)	115	
3 ②	ジョバンニ	牡3	57	松山弘平	1%	4-3-3-3	33.1	476(-4)	4.6③	杉山晴紀(栗東)	112	
4 ⑨	デルアヴァー	牡3	57	荻野 極	%	5-5-5-5	33.1	490(+10)	20.8⑦	松永幹夫(栗東)	111	
5 ①	ライトラック	牡3	57	和田竜二	クビ	6-5-5-6	33.0	478(+10)	13.9④	友道康夫(栗東)		
6 ③	アルマデオロ	牡3	57	武 豊	クビ	2-2-2-2	33.6	490(-6)	19.4⑥	清水久詞(栗東)		
7 ⑥	サンライズバブル	牡3	57	池添謙一	2	9-9-9-9	33.0	512(-4)	46.5⑧	新谷功一(栗東)		
8 ④	ジョイボーアイ	牡3	57	藤岡佑介	クビ	10-10-9-10	32.8	484(+10)	18.9⑤	四位洋文(栗東)		
9 ⑧	バッシュンリッチ	牡3	57	西村淳也	%	8-8-7-8	33.2	490(-4)	83.0⑩	久保田貴士(美浦)		
10 ⑦	ボンドロア	牡3	57	横山典弘	3%	1-1-1-1	34.7	464(-12)	37.7⑧	松永幹夫(栗東)		

単勝⑩270円(2%) 複勝⑩110円(2%) ⑤110円(1%) ②130円(3%) 枠連⑤-⑧330円(1%)

馬連⑤-⑩340円(1%) ワイド⑤-⑩160円(1%) ②-⑩250円(3%) ②-⑤230円(2%)

馬単⑤-⑩680円(2%) 3連複②-⑤-⑩440円(1%) 3連単⑩-⑤-②1,690円(2%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m

36.9 - 49.9 - 1:02.6 2:26.4 (11.2) 2:15.2 (10.7) 2:04.5 (11.2) 1:53.3 1:41.4 (11.9) (12.9) 24.0 (11.1) 12.9 IS 1:53.3 1:41.4 (12.7) 1:28.7 (13.1) 1:15.6 (13.0) 1:02.6 (12.7) 49.9 (13.0) 36.9 (12.9) 1:41.4 (12.7) (11.9)

### アラカルト

- 川田将雅騎手はサトノグランツで制した23年に続く神戸新聞杯2勝目。JRA重賞は本年8勝目、通算150勝目。JRA重賞競走150勝は史上6人目、現役4人目
- 中内田充正調教師は神戸新聞杯初勝利。JRA重賞は本年4勝目、通算46勝目
- キズナ産駒はJRA重賞通算46勝目
- エリキング、ショウヘイ、ジョバンニは菊花賞(G I)に優先出走できる

# エリキング Eri King

牡 鹿毛 2022.2.12生

北海道安平町 ノーザンファーム生産  
馬主・藤田晋氏 栗東・中内田充正厩舎  
馬名意味・人名より+王

		ヤングスターAUS系 F1-s	
キズナ 青鹿毛 2010	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA	
		ウインドインハーヘAIRE	
ヤングスターAUS Youngstar 鹿毛 2014	キャットクイルCAN 鹿毛 1990	Storm Cat	
		Pacific Princess	
	High Chaparral 鹿毛 1999	Sadler's Wells	
		Kasora	
	Starspangled 鹿毛 2003	Danehill	
		User Friendly	

5代までのインブリード: Northern Dancer M4×S5×M5 Shirley Heights M5×M5

## INTERVIEW

野崎孝仁厩舎長(ノーザンファーム早来)

### 見事な末脚を見せてくれました

ダービーでは次に繋がるようなレースを見せてくれましたが、まだ子供っぽさも残っており、良くなるのは先になると思っていました。今回はプラス体重にも表れていたように、当時からの成長力を示してくれただけでなく、届かないのではないかと思った位置から見事な末脚を見せてくれました。折り合いも多くの菊花賞へ向けて距離の不安はありません。



前日の阪神ジャンプSを制したネビリームと同じキズナ産駒の本馬は昨年、6月の初陣を皮切りに野路菊S、京都2歳Sと無傷の3連勝。その後、京都2歳Sと無傷の3連勝。その後、骨折のため戦列を離れ、復帰戦の皐月賞は思いがけない大敗(11着)を喫したが、続くダービーでは5着に追い込み、この日は、ずば抜けた上がりタイム(32秒3)を記録してライバルを一蹴。混戦模様が漂っていた菊花賞戦線に強力な主役が誕生した。

### 父キズナ

北海道新函町 株式会社ノースヒルズ生産 詳細はP.16参照

### 母ヤングスターAUS

豪26戦4勝(クイーンズランドオーフィスG<sub>1</sub>、ドゥームベンロージズS G<sub>2</sub>、ターナブルS G<sub>1</sub>2着、クイーンズランドダービーG<sub>1</sub>3着)、20年輸入

### エリキング 本馬(22 牡父キズナ)中央6戦4勝(神戸新聞杯G<sub>II</sub>、京都2歳S G<sub>III</sub>、

野路菊S 0p) 獲得総賞金141,348,000円

(23 流産)

(24 牡父コントレイル)

(25 牡父イクノックス)

### 祖母スタースパングルド Starspangled

アイルランド産 愛1勝

バギーグリーン Buggy Green(08 牡父Galileo)豪1勝、トファネ Tofane

(CFオールS・豪G<sub>1</sub>、ストラドブロークH・豪G<sub>1</sub>、タタソールズティ

アラ・豪G<sub>1</sub>、オールエイジドS・豪G<sub>1</sub>)、ノーコンプロマイズ No Compromise(メトロボリタンH・豪G<sub>1</sub>、NEマニオンC・豪G<sub>3</sub>)、ペ

ノーベナウ(BナルトンワイオングゴールドC・豪L、オーストラリ

アンダービー・豪G<sub>1</sub>2着)、ブラッドマン Bradman(ブラムコグラニッ

ト&マープルフライングH・新L、ウインターC・新G<sub>3</sub>3着2回)の母

ジャックストライクスバック Jack Strikes Back(10 牡父Encosta De

Lago)豪7勝

イレヴンセカンド Eleven Seconds(11 牡父Encosta De Lago)豪6勝(ゴールドバンベリーC・L3着)

### ヤングスターAUS(14 前出)

ブリリアントマインド Brilliant Mind(15 牡父So You Think)豪11勝

ファンスターAUS(16 牡父Adelaide)豪5勝(ライトS G<sub>1</sub>、ファーラップ S G<sub>2</sub>、ティーローズS G<sub>2</sub>、エプソムH G<sub>1</sub>2着)、輸入繁殖牝馬

### 曾祖母ユザーフレンドリー User Friendly

イギリス産 中央0勝、愛、北米、英、仏8勝(英セントレジャーG<sub>1</sub>、英オークスG<sub>1</sub>、愛オークスG<sub>1</sub>、サンクルーダ賞・仏G<sub>1</sub>、ヨークシャーオークス・英G<sub>1</sub>、オーケストライアルS・英L、凱旋門賞・仏G<sub>1</sub>2着、全欧年度代表馬)

スタースパングルド Starspangled(03 前出)

トゥーマイルズウエスト Two Miles West(01 牡父Sadler's Wells)愛、英1勝(クイーンズヴァーズ・英G<sub>3</sub>2着)、障害7勝

ダウントウン Downtown(04 牡父Danehill)愛2勝(ギヴサンクスS G<sub>3</sub>)

皐月賞馬ミュージアムマイルは秋の天皇賞を目指し、ダービー馬クロワデュノールは凱旋門賞へ。春の王者が不在となる菊花賞の行方を占う関西のトライアル・神戸新聞杯は、ダービー3着のショウヘイと同5着のエリキングが2倍合の単勝オッズで1、2番人気を分け、ホープフルS 2着、皐月賞でも4着に追い込んだ若葉Sの覇者ジョバンニがこれに続いた。を中心勢力と目された3頭が結果的にも上位を独占したレースは、エリキングが中身の濃い内容で勝利を飾り、本番の最有力候補に浮上した。

お互いの出方を探り合つように飛び出した先行勢からボンドロアが抜け出

し、1コーナーで先手を奪取。ゆったりとした流れでレースが進むなか、ジョンソンニは3番手のインに收まり、シヨウヘイはその外で脚を溜める。一方、課題のスタートを決めたエリキングと川田将雅騎手のコンビは、先頭から8馬身ほど離れた中団の外を追走。スローペースにもスムーズに折り合い、仕掛けのタイミングを窺つた。

逃げ込みをはかるボンドロアを追つて、ジョンソンニは内へ、ショウヘイとエリキングは外へ進路を取った直線。鋭く加速したショウヘイがまずは坂下で先頭に躍り出る。しかしエンジンに火がついたエリキングは相手を凌駕する抜群の決め手を発揮。押し切りまであと一步と迫ったショウヘイに並びかけ、最後はねじ伏せるようにしてゴールを駆け抜けた。

前日の阪神ジャンプSを制したネビリームと同じキズナ産駒の本馬は昨年、6月の初陣を皮切りに野路菊S、京都2歳Sと無傷の3連勝。その後、骨折のため戦列を離れ、復帰戦の皐月賞は思いがけない大敗(11着)を喫したが、続くダービーでは5着に追い込み、この日は、ずば抜けた上がりタイム(32秒3)を記録してライバルを一蹴。混戦模様が漂っていた菊花賞戦線に強力な主役が誕生した。

## 混戦模様の菊花賞戦線に主役誕生